

2021年11月18日

各位

一般社団法人内航ミライ研究会の「SDGs宣言」策定を支援しました！

～SDGsの達成に向けて取り組んでいるお客さまをサポート～

株式会社伊予銀行(頭取 三好 賢治)は、SDGsの達成に取り組んでいるお客さまを支援するため、「いよぎんSDGs診断サービス」をご提供しております。今般、一般社団法人内航ミライ研究会様(愛媛県今治市、代表理事 浦山 秀大様)が『SDGs宣言』を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出に繋がることから、多くの企業がSDGsへの取組みを推進しています。

このサービスは、チェックシートに回答することで、企業のSDGsへの取組み状況を客観的に診断し、当行がお客さま独自の『SDGs宣言』の策定をサポートする法人さま向けのサービスです。

当行は、地域金融機関として、潤いと活力ある地域社会の実現に貢献するため、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

記

○企業概要

項目	内容
企業名	一般社団法人内航ミライ研究会
所在地	愛媛県今治市天保山町1丁目4番地の5
業種	内航船の研究開発事業
設立	2020年10月

※SDGs宣言については、別紙をご参照ください。

以上



【本件に関するお問い合わせ】 伊予銀行法人コンサルティング部(担当:前田) TEL (089) 907-1062

一般社団法人内航ミライ研究会 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2021年11月18日
一般社団法人内航ミライ研究会
代表理事 浦山 秀大

SDGsの達成に向けた取り組み

内航船の価値向上

内航船における省力化を基本コンセプトとして、ミライの内航船を建造するお手伝いを推進することで、業界の活性化や内航船の価値向上に努めてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・内航船の省力化を支援（自動離着岸システムの研究、自動運航に向けた取り組みなど）
- ・多数のステークホルダーとの連携によるプロジェクト推進
- ・産業振興に関する事業やイベントに参画

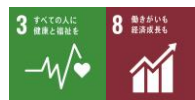


労働環境の改善

内航船における省力化を基本コンセプトとして、自動化などによる船上作業の効率を推進することで、内航船舶業界における労働環境の改善に努めてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・遠隔化、電動化、自動化などによる船上作業の効率化
- ・オペレーションの効率化
- ・安全な現場環境の整備



環境対策

最先端の技術を積極的に活用して、環境に配慮したミライの内航船づくりを支援することで、地球温暖化防止や環境負荷の軽減に努めてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・廃棄物の分別徹底とリサイクル推進
- ・環境配慮型製品の積極利用
- ・環境配慮型製品の開発



法令順守

内航船舶業界全体の法令順守や事業継続に向けた取り組みを積極的に推進することで、持続可能で強固な組織や業界の実現に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・法令順守の徹底
- ・業界内のBCP（事業継続計画）取り組みを提唱



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。